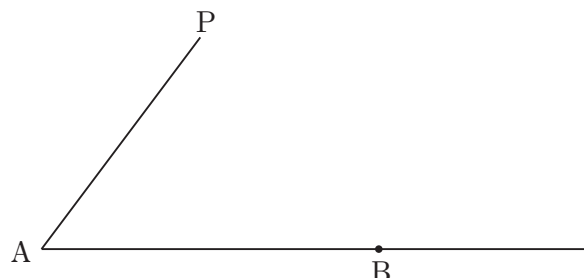


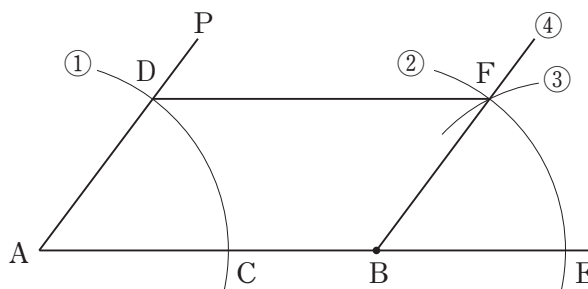
■ 陸さんは、平行四辺形について考えています。次の(1)、(2)の問題に答えましょう。

- (1) 陸さんは、右の図を使って、平行四辺形を次の手順で作図し、その作図が正しいことの証明を考えました。



【陸さんの手順】

- ① 点 A を中心として円をかき、直線 AB, AP との交点をそれぞれ C, D とする。
- ② 点 B を中心として①と等しい半径の円をかき、AB との交点を E とする。
- ③ 点 E を中心とし、線分 CD と等しい半径の円をかき、②の円との交点を F とする。
- ④ 直線 BF をひく。
- ⑤ D と F を結ぶ。



陸さんは、作図をしているとき、 $DA \parallel FB$ であると予想し、このことをいうためには、 $\triangle DAC \equiv \triangle FBE$ を証明すればよいと考えました。

- ㊦ $\triangle DAC \equiv \triangle FBE$ を証明するための合同条件を書きなさい。

3 組の辺がそれぞれ等しい

- ① 陸さんは、 $\triangle DAC \equiv \triangle FBE$ を証明したあと、 $DA \parallel FB$ であることを次のようにいいました。
 [あ] には、図中の記号を用いて、 $DA \parallel FB$ をいうために必要な条件を、[い] には、最も適することばをそれぞれ書きなさい。

[あ] より [い] が等しいので、 $DA \parallel FB$ である。

②

$\angle DAC = \angle FBE$

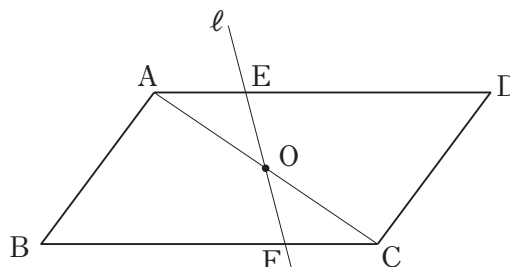
③

同位角

- ㊦ 陸さんは、 $DA \parallel FB$ であることを証明した後、「四角形 DABF は平行四辺形である」といいました。このとき、四角形 DABF が平行四辺形となるための条件を書きなさい。

1組の向かいあう辺が、等しくて平行である

- (2) 陸さんは、先生から「平行四辺形の対角線の交点を通る直線は、その平行四辺形の面積を2等分する」ということを教えてもらいました。そこで、右のような図をかき、それが正しいことを証明しようと思います。



直線 l が平行四辺形の ABCD の面積を2等分することは、
四角形 ABFE $= \frac{1}{2}$ 平行四辺形 ABCD ということだね。
 $\triangle ABC = \frac{1}{2}$ 平行四辺形 ABCD だから...

陸さんは、合同な三角形は当然面積も等しいので、 $\triangle AOE \equiv \triangle COF$ を示せばよいと考え、次のように証明しました。陸さんの証明の を補って、証明を完成させなさい。

陸さんの証明

$\triangle AOE$ と $\triangle COF$ において、

四角形 ABCD は平行四辺形だから、

$$AO = CO \cdots \textcircled{1}$$

$AD \parallel BC$ より、錯角は等しいから、

$$\angle OAE = \angle OCF \cdots \textcircled{2}$$

対頂角は等しいから、

$$\angle AOE = \angle COF \cdots \textcircled{3}$$

①、②、③から、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので、

$$\triangle AOE \equiv \triangle COF$$

したがって、 $\triangle AOE = \triangle COF$

ここで、四角形 ABFE $= \triangle ABC + \triangle AOE - \triangle COF$

$$= \triangle ABC + \triangle AOE - \triangle AOE = \triangle ABC$$

$$\triangle ABC = \frac{1}{2} \text{ 平行四辺形 ABCD だから、四角形 ABFE} = \frac{1}{2} \text{ 平行四辺形 ABCD}$$

ゆえに、平行四辺形の対角線の交点を通る直線は、その平行四辺形の面積を2等分する。